

様式第10号の3の1（第19条関係）

事業の種類【協働で叶える市民活動促進事業】

事業の名称：藁細工文化の継承・発信・活用事業

団体名	稲わらの雲南よしだ	事業費	218,004円
代表者	岩城こよみ	補助金交付額	200,000円
構成員	31人	事業実施期間	令和6年4月1日～ 令和7年3月21日
協働のパートナー部署	吉田総合センター市民サポート課、教育委員会文化財課	その他連携先	—

現状と課題

昭和60年より大社へ奉納してきた鶴亀細工、平成12年より稲わら工房で展開してきた藁細工活動など、吉田では藁細工文化が盛んであった。しかし現在、後継者断絶・活動拠点喪失の危機に直面している。

事業のねらい

地域の藁細工伝承者からの技術継承を基点とし、藁細工文化の堪能・継承・発信につなげることを目的とする。

実施状況

◇実施状況

会員主体の月1回の藁活（藁細工の技術継承）と、正会員による自主藁活を実施した。稲わら作品（亀、鍋敷き等）やしめ縄作りのワークショップを4回開催した。さらに、藁細工作業場の維持管理によって会員内外の個人的ニーズにもこたえつつ、吉田の伝統的藁細工に関する文化活動を展開した。

◇協働の内容（役割分担と成果）

・役割分担

提案団体：企画・運営・周知・記録

市：周知、情報提供

・成果

市民団体として活動したことにより、参加者の間口拡大につながった。吉田内外からの多数の参加者があった。

市担当課による事業視察もあり、励みになった。

◇今後の改善点等

活動拠点にトイレ設備のないことが課題。運営に関しては不慣れな点も多く、予想以上の参加者があったことから、今後の事業展開においては事業計画のペース配分の再検討が必要となる。



様式第10号の3の1（第19条関係）

事業の種類【協働で叶える市民活動促進事業】

事業の名称：関係人口を巻き込んだ地域自治システムの構築

団体名	アヨ有機農法塾	事業費	287,500円
代表者	永瀬 康典	補助金交付額	200,000円
構成員	49人	事業実施期間	令和6年5月16日～ 令和6年12月31日
協働のパートナー部署	政策企画部うなん暮らし推進課、農林振興部農業畜産課	その他連携先	阿用地区振興協議会、農業法人結の郷、合同会社宮内舎

現状と課題

少子高齢化に伴い地域の担い手が減少傾向にあり、地域外からの人的支援ができる仕組みを作っていく必要がある。地域内外の子どもたちの体験の場の創出と、保護者世代を巻き込んだ関係人口の拡大。

事業のねらい

米作り体験や草刈り等を実施することで、地域の農地を維持するだけでなく、体験を通じて関係人口の拡大を目指す。また、子どもたちに作業体験や収穫の喜びを感じてもらい、将来の担い手育成に繋げていきたい。

実施状況

◇実施状況

- ・5月18日 田植え体験（44名参加）
適宜、草取りや草刈りを実施
- ・9月21日 稲刈り体験（40名参加）
- ・10月26日 収穫祭の開催（65名参加）



◇協働の内容（役割分担と成果）

- ・アヨ有機農法塾・・・事業実施
- ・阿用地区振興協議会・・・地域内への周知と協力
- ・連携団体・・・農作業実施協力
- ・合同会社宮内舎・・・体験者への周知、受入協力
- ・雲南市・・・体験参加者への情報提供、情報発信



県内外から多くの参加者があり、関係人口拡大につながった。

◇今後の改善点等

- ・地元小学校や保育園への声掛けが遅くなり、参加児童が少なかった。
- ・次年度以降の活動資金の確保策。

様式第10号の3の1（第19条関係）

事業の種類【協働で叶える市民活動促進事業】

事業の名称：こどもにやさしいまちづくり

団体名	まんまるうんなん	事業費	210,876円
代表者	佐藤 文宣	補助金交付額	200,000円
構成員	10人	事業実施期間	令和6年10月1日～ 令和7年3月13日
協働のパートナー部署	雲南市人権センター、こども政策局こども家庭支援課、教育委員会社会教育課	その他連携先	

現状と課題

地域や学校ではこどもたちの自己肯定感の低さが近年特に問題とされてきた。感情表明、意見表明力が低い子どもが多くいるが、表明する機会も与えられてはいない。一方で地域の大人はこどもの権利についての視点を持たず、子どもや他者を肯定する力を持ち合わせていない。人権意識が低いと言わざるを得ない言動もある。

事業のねらい

勉強会及びワークショップの実施を通じ、参加者（教育関係者、保護者、地域の大人）がこどもの権利について学び、こどもへの向き合い方を見直す機会を作ることで、「こどもの権利」の視点を持ち、こどもの声に耳を傾ける大人を増やすことを目指す。

実施状況

◇実施状況

「こどもの権利」に関する勉強会の実施（4回）

◇協働の内容（役割分担と成果）

提案団体：企画、運営、講師の手配等

市の役割：情報提供、場の提供、市の取り組み紹介

①学習会での雲南市子ども家庭センターの取り組み紹介は保護者の相談利用へのハードルを下げるよい機会になった市の職員の方へ親しみを感じ、子どもたちへの思いを共有する時間となった。

②市を通じて市内の小学校と幼稚園保育園、人権擁護委員への活動チラシの配布を依頼した。保護者や関係者への団体活動の周知となった。

◇今後の改善点等

保護者向け、関係者向けなどより対象に合わせた学習会の開催を検討する。

また、アンケートはオンラインでの回答など、後日回答ができるように準備を行う。

